2026年 11月 13日

株式会社サトー

2027年3月期 第2四半期 決算説明資料

証券コード：6287 東証プライム市場

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 Q2実績

中期経営計画 進捗

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

決算のポイント

■ Q2（7～9月）実績

- **連結で前年同期比増収（+11%）・営業増益（+24%）　括弧内の%は対前年同期比**
  - ✓ 海外ベース事業：増収（+17%）・増益（+56%）
  - ✓ 海外プライマリー専業：増収（+14%）・増益（+55%）
  - ✓ 日本事業：増収（+7%）・営業利益は横ばい（-2%）
- **計画比（2026年8月12日時点）の売上高・営業利益は、海外事業が上振れ、日本事業は概ね計画線**
  - ✓ 海外事業：　ベース事業とプライマリー専業共に上振れ
  - ✓ 日本事業：　市場・業界により濃淡はあるものの、堅調な需要を捕捉し、概ね計画線

■ 通期 業績予想

- **連結：通期の売上高・営業利益予想を上方修正し、過去最高益を更新する見込み**
  - ✓ 海外事業：　米国の関税還付や上期の上振れを踏まえ、ベース事業を中心に上方修正
  - ✓ 日本事業：　原材料価格の上昇や戦略投資を織り込む一方、収益力の強化や販管費コントロールを着実に進め、通期計画の達成を見込む

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高および営業利益※2

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		**売上高**	**40,418**	**44,918**	**+11.1%**	**+7.4%**
		営業利益	**2,741**	**3,396**	**+23.9%**	**+18.2%**
海外	ベース事業	売上高	13,022	15,270	+17.3%	+9.0%
		営業利益	1,133	1,765	+55.8%	+42.3%
	プライマリー専業	売上高	5,922	6,746	+13.9%	+6.4%
		営業利益	468	727	+55.2%	+43.3%
	消去	営業利益	24	-46	-	-
	計	売上高	18,944	22,017	+16.2%	+8.2%
		営業利益	1,626	2,446	+50.4%	+37.6%
日本		売上高	21,473	22,901	+6.7%	+6.7%
		営業利益	1,036	1,021	-1.5%	+3.7%
消去		営業利益	78	-71	-	-

※1 上期（4～9月）実績はP. 31に掲載
※2 ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 44に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績※2

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	40,418	44,918	+4,500	+11.1%
営業利益	2,741	3,396	+654	+23.9%
営業利益率	6.8%	7.6%	+0.8pt	-
経常利益	2,574	3,085	+511	+19.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,841	1,803	-37	-2.0%
EBITDA※	4,246	5,115	+868	+20.4%

為替感応度：すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+556百万円、営業利益+24百万円（FY26通期ベース）

為替レート（期中平均）

USD	146.02	159.48
EUR	168.05	184.42

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	1,501	1,685
のれん償却	3	33

※1 上期（4～9月）実績はP. 32に掲載
※2 ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 45に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

総括

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
ベース事業 売上高	13,022	15,270	+2,248	+17.3%	+9.0%
プライマリー専業 売上高	5,922	6,746	+824	+13.9%	+6.4%
売上高 計	**18,944**	**22,017**	**+3,072**	**+16.2%**	**+8.2%**
粗利額	7,182	8,890	+1,708	+23.8%	-
粗利率	37.9%	40.4%	+2.5pt	-	-
ベース事業 営業利益	1,133	1,765	+632	+55.8%	+42.3%
プライマリー専業 営業利益	468	727	+258	+55.2%	+43.3%
消去 営業利益	24	-46	-70	-	-
営業利益 計	**1,626**	**2,446**	**+820**	**+50.4%**	**+37.6%**
営業利益率	8.6%	11.1%	+2.5pt	-	-

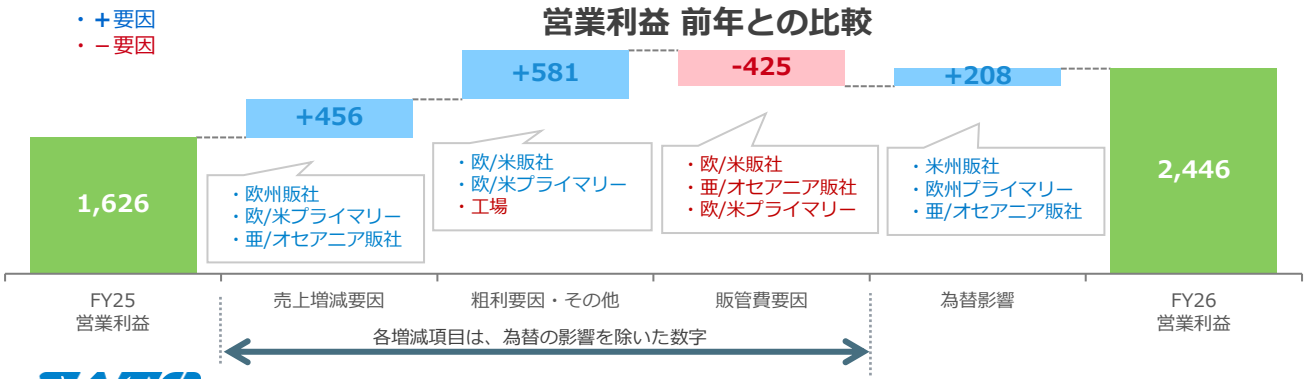
※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

売上高

- ベース事業は、各地域で大口案件やソリューション需要を着実に取り込み、為替の好影響もあり増収
- プライマリー専業は、欧州で前年同期にあった気候要因からの反動増や堅調な需要に加え、為替の好影響により増収

営業利益

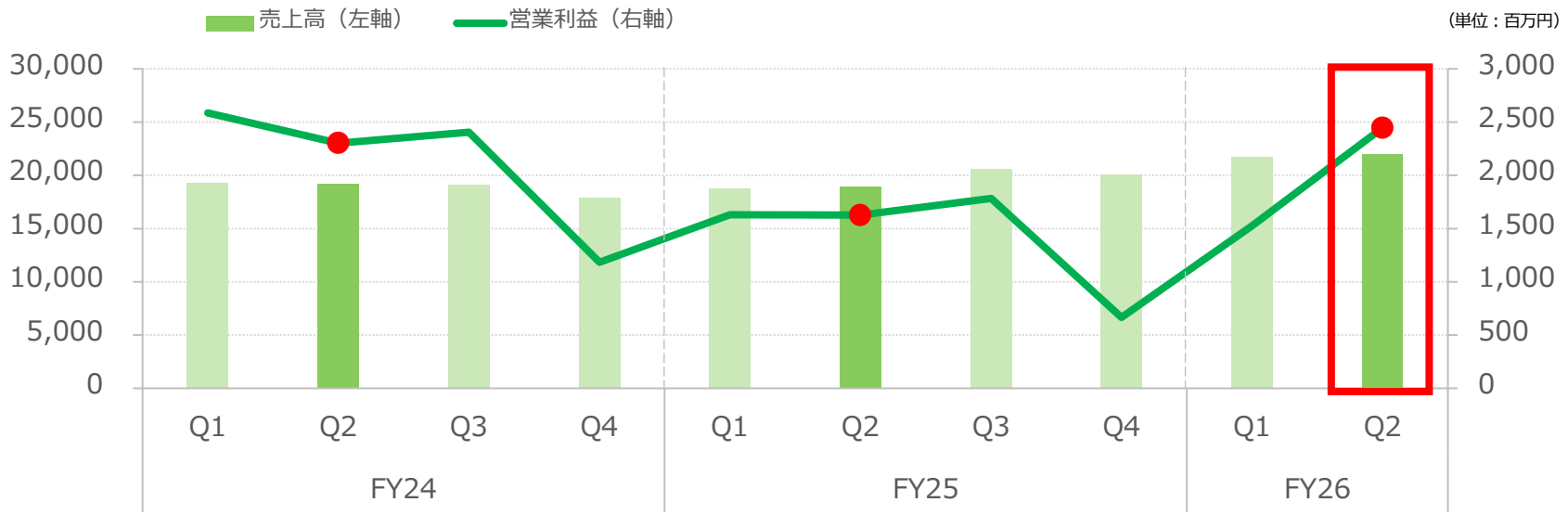
- ベース事業は、全地域で増収効果があったことと、米国の関税還付による一過性の好影響などにより増益
- プライマリー専業は、人件費などのコスト増を増収効果で吸収して増益



※ 上期（4～9月）実績はP. 37に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



売上高	19,321	19,223	19,104	17,937	18,737	18,944	20,648	20,064	21,762	22,017
前年比	+17.4%	+12.4%	+8.2%	+7.2%	-3.0%	-1.4%	+8.1%	+11.9%	+16.1%	+16.2%
営業利益	2,586	2,303	2,405	1,183	1,629	1,626	1,782	666	1,526	2,446
前年比	+19.2%	-1.8%	-3.4%	-4.4%	-37.0%	-29.4%	-25.9%	-43.7%	-6.3%	+50.4%

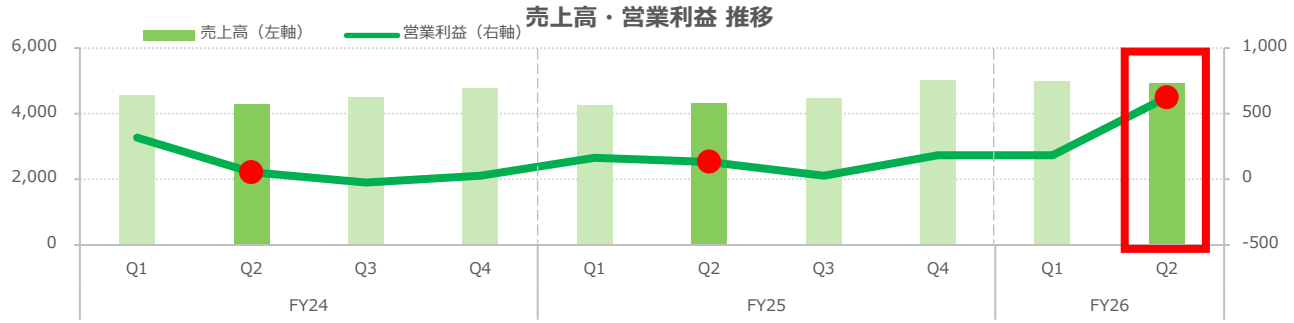
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

米州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
売上高	4,315	4,922	+607	+14.1%	+5.5%
営業利益	133	625	+491	4.7倍	4.3倍

※2 アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む



	FY24 Q1	FY24 Q2	FY24 Q3	FY24 Q4	FY25 Q1	FY25 Q2	FY25 Q3	FY25 Q4	FY26 Q1	FY26 Q2
売上高	4,568	4,294	4,503	4,768	4,264	4,315	4,450	5,008	4,974	4,922
前年比	+4.9%	-2.7%	+4.9%	+11.5%	-6.7%	+0.5%	-1.2%	+5.0%	+16.6%	+14.1%
営業利益	318	54	-24	28	164	133	27	183	184	625
前年比	+61.3%	-32.9%	-	-	-48.4%	2.5倍	-	6.5倍	+12.4%	4.7倍

※1 上期（4～9月）実績はP. 38に掲載

売上高

- 米国はリテール市場においてBLEセンサータグ関連が継続し増収
- 南米は需要環境は厳しかったものの、ヘルスケア市場の大口商談や為替の好影響により増収

営業利益

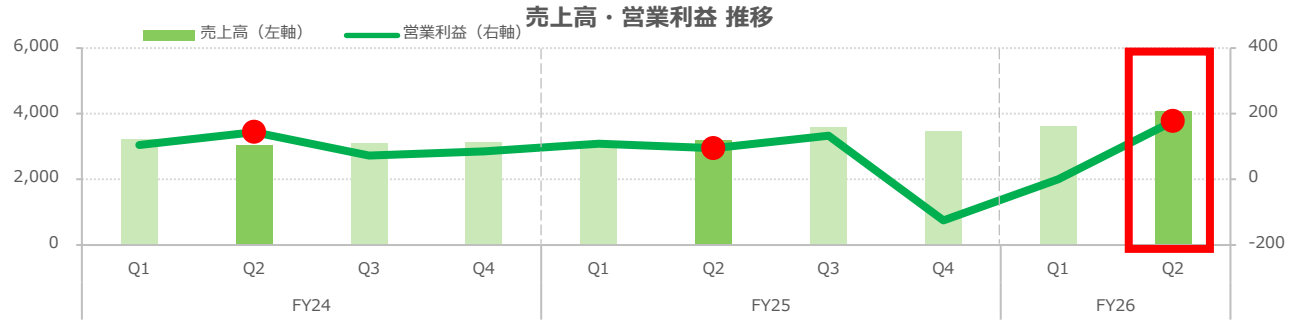
- 米国は、保守サービスが堅調に推移したことで、商品ミックスが改善し、関税還付の一過性の好影響もあり増益
- 南米は増収効果があったものの、人件費などコスト上昇により減益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

欧州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	3,191	4,085	+894	+28.0%	+19.9%
営業利益	95	177	+82	+86.3%	+71.3%



売上高	3,221	3,028	3,106	3,121	3,129	3,191	3,582	3,457	3,627	4,085
前年比	+7.7%	+11.6%	+3.3%	+4.1%	-2.9%	+5.4%	+15.3%	+10.8%	+15.9%	+28.0%
営業利益	105	144	73	85	109	95	133	-125	0	177
前年比	-78.3%	+33.8%	-66.2%	+9.0%	+4.3%	-34.2%	+81.0%	-	-	+86.3%

※ 上期（4～9月）実績はP. 38に掲載

売上高

- 欧州全般で投資意欲は緩やかに回復基調にあり、需要を捕捉して増収
- 英国での自動貼り大口商談獲得したことと、リテールとフード市場が堅調に推移し、増収に寄与

営業利益

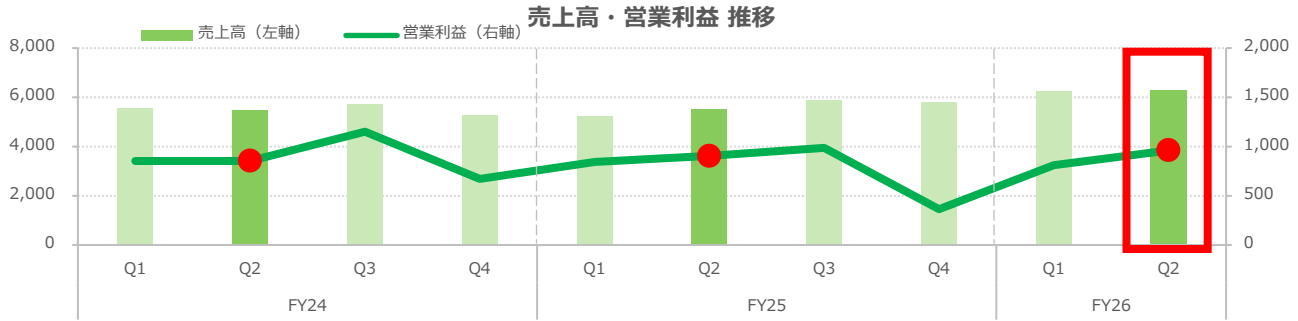
- 増収影響とミックス改善が、インフレによる人件費増加などコスト増加をカバーして増益

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

アジア・オセアニア ベース事業※2

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	5,516	6,262	+746	+13.5%	+5.3%
営業利益	904	962	+58	+6.4%	-3.4%



売上高	5,564	5,483	5,718	5,251	5,234	5,516	5,882	5,801	6,230	6,262
前年比	+25.6%	+17.2%	+11.7%	+9.6%	-5.9%	+0.6%	+2.9%	+10.5%	+19.0%	+13.5%
営業利益	853	854	1,151	671	843	904	986	364	812	962
前年比	2.7倍	+74.2%	+49.7%	+25.0%	-1.1%	+5.9%	-14.3%	-45.7%	-3.7%	+6.4%

売上高

- マニュファクチャリング市場を中心とした旺盛な需要を捕捉し、東南アジア全般が好調に推移して増収
- 台湾Argoxは、間接販売における在庫調整の一巡により増収
- 豪州は大口RFID案件が一服したことで減収

営業利益

- 販社は、アジアでの増収効果が豪州の減収影響をカバーし、全体で増益
- 工場は、前年同期にあった日本の大口商談向け販売の反動減に伴い、工場稼働率が低下したことで減益

※1 上期（4～9月）実績はP. 38に掲載
※2 アジア・オセアニア地域の営業利益には、グローバル各子会社向けの商品供給を担う域内工場の利益を含む

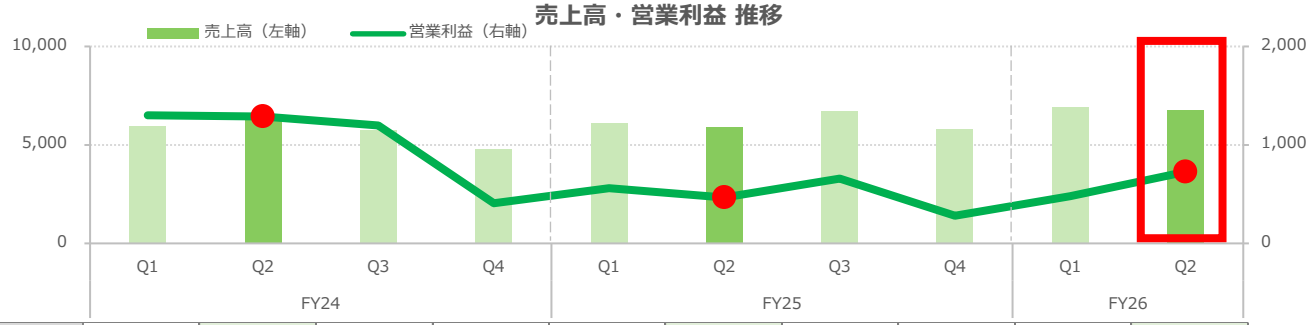
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

海外 プライマリー専業

（単位：百万円）

		FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
米州 Achernar社（アルゼンチン） Plakorar社（ブラジル）	売上高	905	1,072	+166	+18.4%	+11.7%
	営業利益	116	199	+82	+70.6%	+64.4%
欧州 Okil社/X-pack社（ロシア）	売上高	4,930	5,572	+642	+13.0%	+5.3%
	営業利益	346	530	+184	+53.2%	+39.1%
アジア・オセアニア Hirich社（ベトナム）	売上高	87	102	+14	+17.1%	+14.1%
	営業利益	5	-2	-8	-	-
合計	売上高	5,922	6,746	+824	+13.9%	+6.4%
	営業利益	468	727	+258	+55.2%	+43.3%

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む



売上高	5,966	6,416	5,775	4,796	6,109	5,922	6,733	5,797	6,929	6,746
前年比	+27.6%	+21.1%	+10.5%	+2.9%	+2.4%	-7.7%	+16.6%	+20.9%	+13.4%	+13.9%
営業利益	1,301	1,290	1,198	409	561	468	658	281	478	727
前年比	+16.4%	-14.5%	+5.4%	-47.2%	-56.9%	-63.7%	-45.1%	-31.1%	-14.9%	+55.2%

売上高

- 欧州は、設備増強効果に加え、前年同期にあった気候要因からの反動増や堅調な需要と為替の好影響により増収
- 米州はインフレ影響により需要が低調に推移したものの、価格改定効果と為替の好影響により増収

営業利益

- 欧州は、人件費上昇や生産設備増強に伴うコスト増などの影響を受けたものの、増収効果と為替の好影響で吸収して増益
- 米州は、インフレ影響により人件費などコスト増の影響を受けたものの、価格改定効果が奏功し、増益

※ 上期（4～9月）実績はP. 39に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

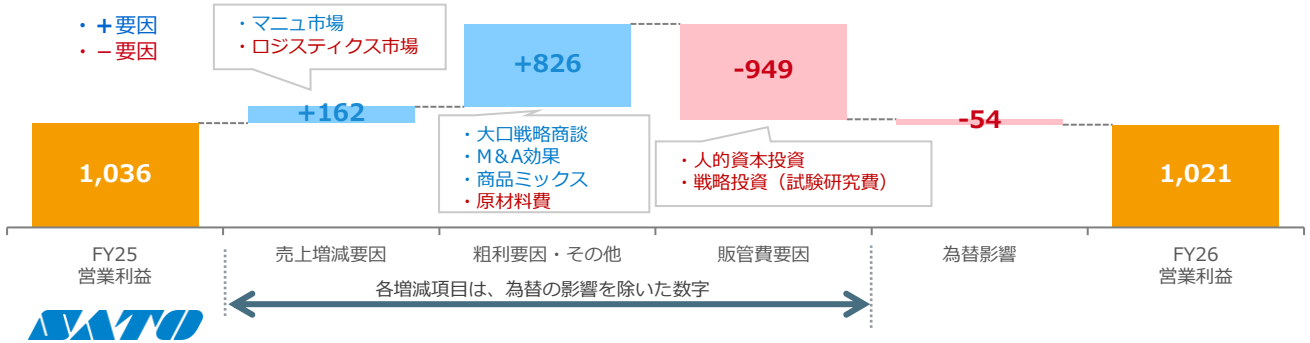
総括

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
メカトロ売上高	9,743	9,202	-541	-5.6%
サプライ売上高	11,729	13,699	+1,969	+16.8%
外部売上高 計	**21,473**	**22,901**	**+1,428**	**+6.7%**
粗利額	9,380	10,314	+933	+10.0%
粗利率	43.7%	45.0%	+1.4pt	-
営業利益	**1,036**	**1,021**	**-15**	**-1.5%**
営業利益率	4.8%	4.5%	-0.4pt	-

メカトロ：プリンターやラベル自動貼付機器、スキャナー、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど
サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど
FY26 Q2より平野屋物産の売上高約9億円を含む

営業利益 前年との比較



売上高

- メカトロ：Q1に引き続き、新型プリンターの販売が全体をけん引したものの、前年同期にあった大口戦略商談の反動減により減収
- サプライ：堅調な需要に加え、一部前倒し需要なども寄与し、全市場で増収。加えて、M&A効果も寄与

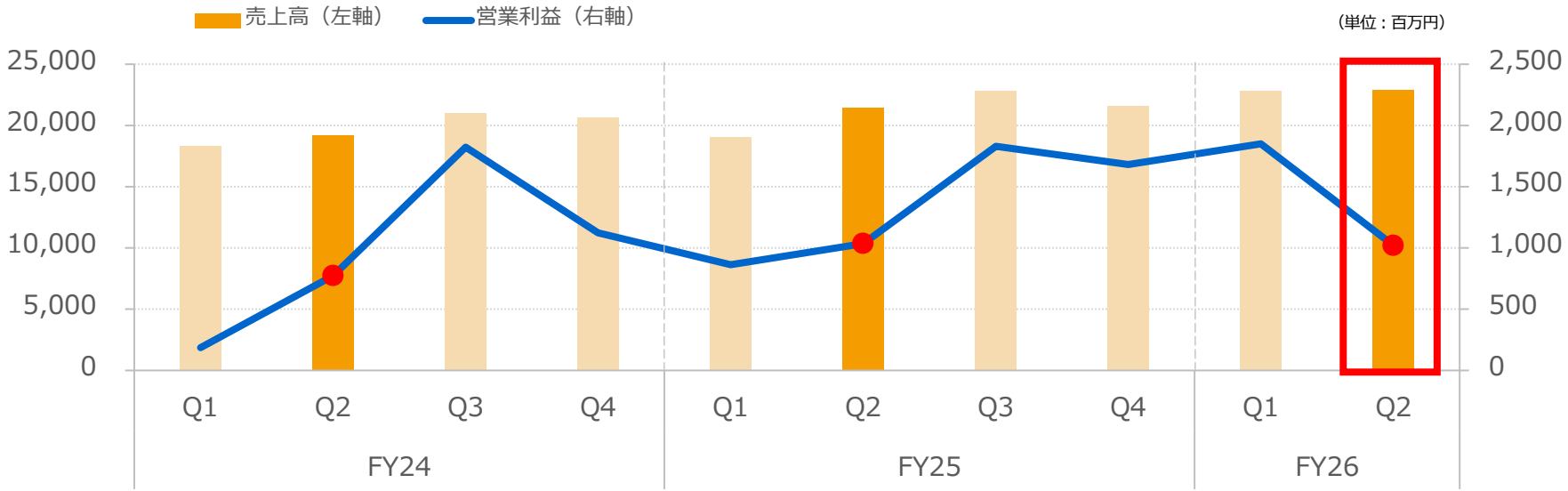
営業利益

- 人的資本投資や戦略投資などにより販管費は増加
- 増収効果やM＆A効果と新型プリンター販売増加による商品ミックス改善が、販管費の増加をカバーし、全体では横ばい

※ 上期（4～9月）実績はP. 42に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



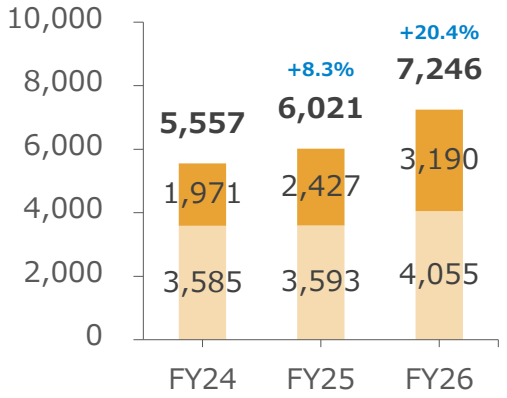
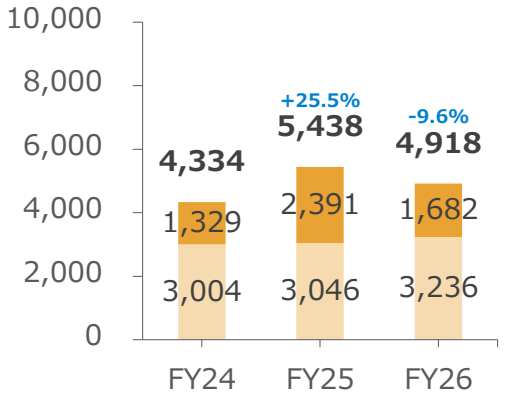
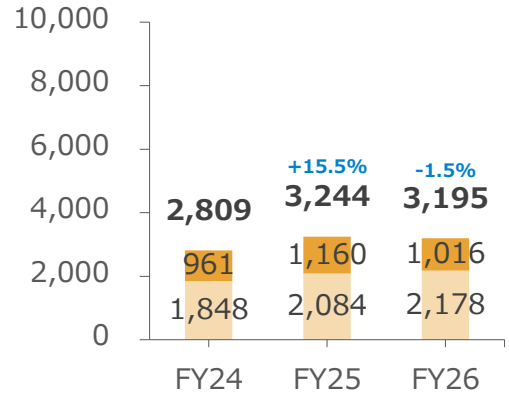
売上高	18,353	19,191	21,016	20,658	19,091	21,473	22,858	21,614	22,858	22,901
前年比	+4.7%	+2.7%	+5.2%	+7.0%	+4.0%	+11.9%	+8.8%	+4.6%	+19.7%	+6.7%
営業利益	186	773	1,824	1,123	864	1,036	1,830	1,682	1,850	1,021
前年比	-	7.3倍	+96.8%	+24.6%	4.6倍	+34.0%	+0.4%	+49.8%	2.1倍	-1.5%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高推移　(1/2)※2

■：サプライ　■：メカトロ　（%は前年同期比）

（単位：百万円）

	マニュファクチャリング※3	ロジスティクス	リテール
売上高			
事業環境	生成AI向けなどの需要増加で先端半導体の生産が引き続き好調。中東情勢悪化の影響が残る業界もあるものの、全般には投資意欲が堅調	活況なEC需要を背景に小口配送を中心に物量は底堅く推移。人手不足や改正物流効率化法関連への対応ニーズが継続	食品スーパーでは店舗におけるDX化をはじめとする効率化への投資が引き続き好調。EC業界での投資も堅調
当社状況	サプライは先端半導体関連を中心とした需要拡大を取り込み、販売が増加。メカトロは新型プリンターの販売が引き続き好調に推移して増加。加えて、自動貼りなどの大口案件が寄与	サプライは物量増を背景とした需要を捕捉し、各業界で堅調に推移。メカトロは個人間ECに関連した大口案件などが継続したものの、前年同期にあった大口戦略商談の反動減により減少	サプライはインバウンド需要が継続し、商品小売業がけん引して増加。メカトロは前年同期の専門店における大口案件の反動減により減少

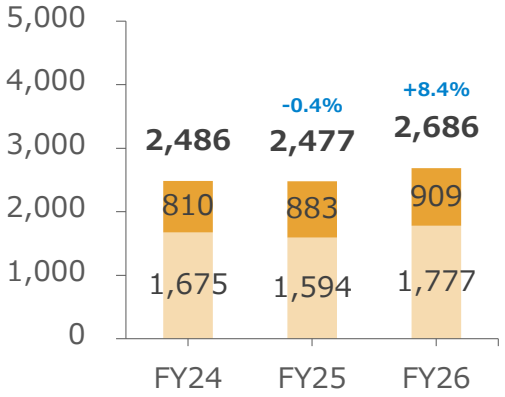
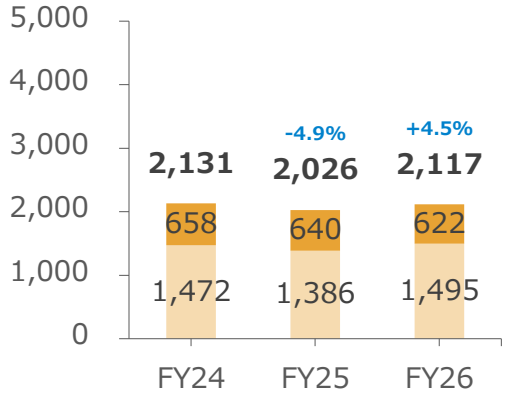
※1 上期（4～9月）実績はP. 43に掲載
※2 FY24 Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後
※3 FY25 Q1よりマニュファクチャリングと公共を合算。グラフは遡及修正後

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高推移　(2/2)※2

■：サプライ　■：メカトロ　（%は前年同期比）

（単位：百万円）

	ヘルスケア	フード
売上高		
事業環境	管理業務効率化や人手不足への対応で、RFIDなど自動認識ソリューションへの投資は継続。需要は総じて底堅く推移	原材料と物流費の高騰や人手不足を背景に、自動化やRFIDなど効率化投資が継続
当社状況	サプライは医療安全に資するリストバンドの販売拡大や、RFIDによる効率化需要を捉えて増加。メカトロは医療機器業界の大口商談に加え、病院業界などのプリンター更新需要が継続し増加	サプライは堅調な需要に加え、外食業界向けの販売拡大により増加。メカトロは食品製造業でHACCP※3対応の大口案件がけん引したものの、外食業界などの大口反動減により横ばい

※1 上期（4～9月）実績はP. 43に掲載
※2 FY24 Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後
※3 食品製造中の食中毒や異物汚染などの危険を防ぐ衛生管理手法

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 業績予想

（単位：百万円）

	上期		下期		通期			
	実績	前年比	修正後予想 2026年11月13日	前年比	前回予想 2026年8月12日	修正後予想 2026年11月13日	増減	前年比
売 上 高	89,540	+14.4%	88,459	+3.8%	172,000	178,000	+6,000	+8.9%
営業利益	6,825	+33.8%	5,574	-6.2%	12,100	12,400	+300	+12.3%
経常利益	6,330	+41.9%	5,569	+2.7%	11,600	11,900	+300	+20.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,342	+42.3%	3,457	+70.0%	7,700	7,800	+100	+53.3%
<参考> EBITDA※1	17,028	←2025年度通期			18,500	18,900	+400	+11.0%

※1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

為替レート（期中平均）

	前回予想 2026年8月12日	修正後予想 2026年11月13日
USD	155.00	155.00
EUR	180.00	180.00

※2 下期予想は、修正後の通期業績予想から上期実績を差し引いて算出

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 業績予想 <内訳>

通期見通し（2026年8月12日）を上方修正
海外事業は売上高と営業利益を上方修正・日本事業は営業利益を据え置き

（単位：百万円）

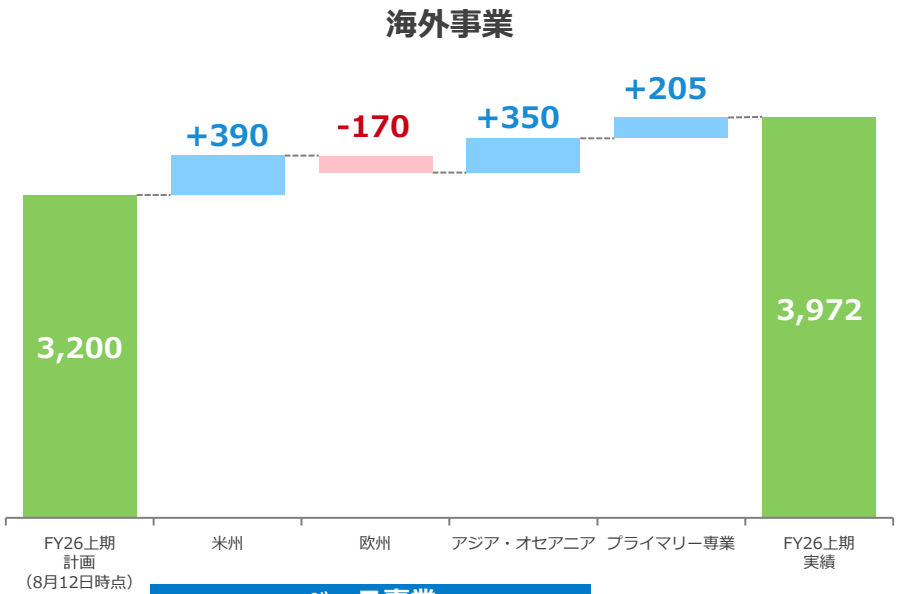
		上期			下期			通期		
		前回予想 2026年8月12日	実績	増減	前回予想 2026年8月12日	修正後予想 2026年11月13日	増減	前回予想 2026年8月12日	修正後予想 2026年11月13日	増減
海外（ベース）	売上高	28,400	30,103	+1,703	29,000	30,296	+1,296	57,400	60,400	+3,000
	営業利益	2,200	2,761	+561	2,100	1,838	-261	4,300	4,600	+300
海外（プライマリー）	売上高	12,200	13,676	+1,476	12,400	11,923	-476	24,600	25,600	+1,000
	営業利益	1,000	1,205	+205	900	694	-205	1,900	1,900	±0
海外 消去	営業利益	0	5	+5	0	-5	-5	0	0	±0
海外	売上高	40,600	43,779	+3,179	41,400	42,220	+820	82,000	86,000	+4,000
	営業利益	3,200	3,972	+772	3,000	2,527	-472	6,200	6,500	+300
日本	売上高	45,500	45,760	+260	44,500	46,239	+1,739	90,000	92,000	+2,000
	営業利益	2,800	2,871	+71	3,100	3,028	-71	5,900	5,900	±0
消去	営業利益	0	-19	-19	0	19	+19	0	0	±0
連結	売上高	86,100	89,540	+3,440	85,900	88,459	+2,559	172,000	178,000	+6,000
	営業利益	6,000	6,825	+825	6,100	5,574	-525	12,100	12,400	+300

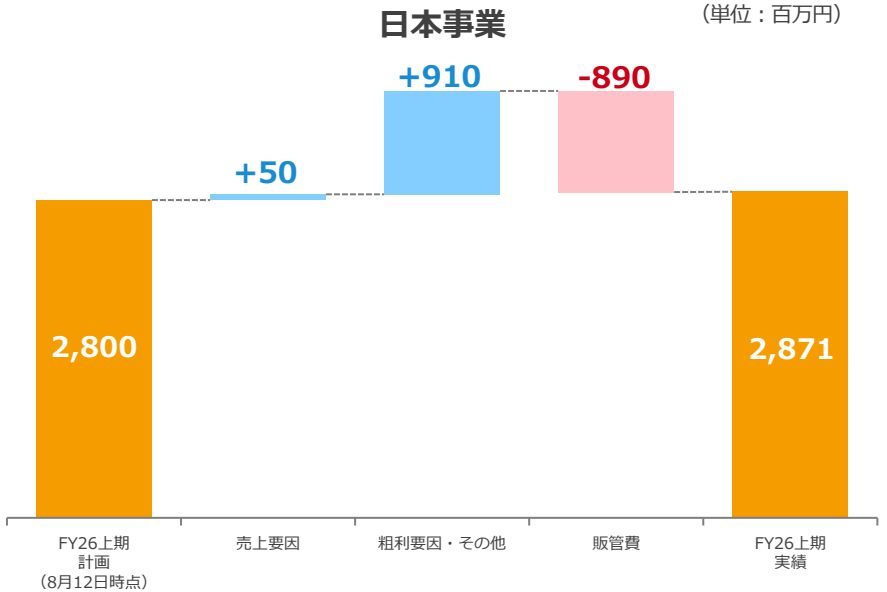
※1 FY26上期実績には、Q2の平野屋物産の売上高・営業利益を含む
※2 FY26下期予想には、平野屋物産の売上高のみを含む
※3 下期予想は、修正後の通期業績予想から上期実績を差し引いて算出

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

営業利益 計画比（2026年8月12日時点）：上期実績

海外事業：堅調な需要の捕捉と米国の関税還付による一過性の好影響などにより、計画を上回る
日本事業：増収効果や商品ミックス改善が人的資本投資などによる販管費増を吸収し、概ね計画線





ベース事業

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

海外地域・プライマリーおよび日本市場別の下期見通し

地域・市場では濃淡はあるものの、全般に自動認識ソリューションへの需要は底堅い

海外事業

米州	欧州	アジア・オセアニア	プライマリー専業
●米国経済は底堅く推移するものの、通商政策やインフレ動向など先行き不透明感が継続 ●BLEセンサー関連の大口案件は一服するものの、EC関連の自動貼り付け需要が継続 ●中南米は底堅く推移するものの、一部地域では高金利を背景に成長ペースは鈍化	●景気は緩やかな成長が続くものの、原材料費やエネルギー価格上昇などを背景に回復は力強さを欠く ●企業の設備投資には慎重さが残る一方、省人化・生産性向上に向けた投資需要は継続 ●血液・検体SCM※関連の案件形成により、高付加価値領域での販売拡大をめざす	●東南アジアは輸出・投資を中心に底堅く、半導体関連の需要やサプライチェーン再編が製造業を下支え ●東アジアは内需低迷が続く一方、ハイテク分野の投資が景気を下支え ●豪州の特定の大口商談で在庫調整の影響を見込む一方、その他の需要は堅調	●為替リスクや地政学リスクによる先行きの不透明感が依然として残る ●ロシアでは個人消費が低迷する一方、生産設備増強による増収効果でカバー。コストは高止まりを見込む ●南米では物価上昇などによる消費とコストへの影響が続くものの、日用品需要は底堅く推移

日本事業

マニュファクチャリング	ロジスティクス	リテール	ヘルスケア	フード
●旺盛な半導体需要を背景に、関連する電子部品業界などが好調に推移 ●新型プリンターの販売は、上期の高水準からは落ち着くものの、堅調に推移	●人手不足やEC拡大を背景に、物流現場のDX化・自動化に向けた投資が進む ●前年同期にあった大口戦略商談の反動減が残るものの、物流ソリューションの寄与を見込む	●人手不足への対応や収益性改善に向け、省人化・在庫管理・RFIDなどの効率化投資は底堅く推移 ●店舗業務やサプライチェーン全体の効率化に向けた案件の積み上げを見込む	●医療安全を支えるリストバンドや医療材料のサプライチェーンを支えるRFIDの需要が継続 ●法定表示対応ラベルや病院のプリンター更新需要が下支え	●コスト上昇や人手不足を背景に、省人化・効率化への投資意欲は底堅い ●トレーサビリティ強化によるデジタル管理や自動貼り付けの需要は堅調に推移

※ SCM（ Supply Chain Management ）：サプライチェーン全体を最適化する経営管理手法

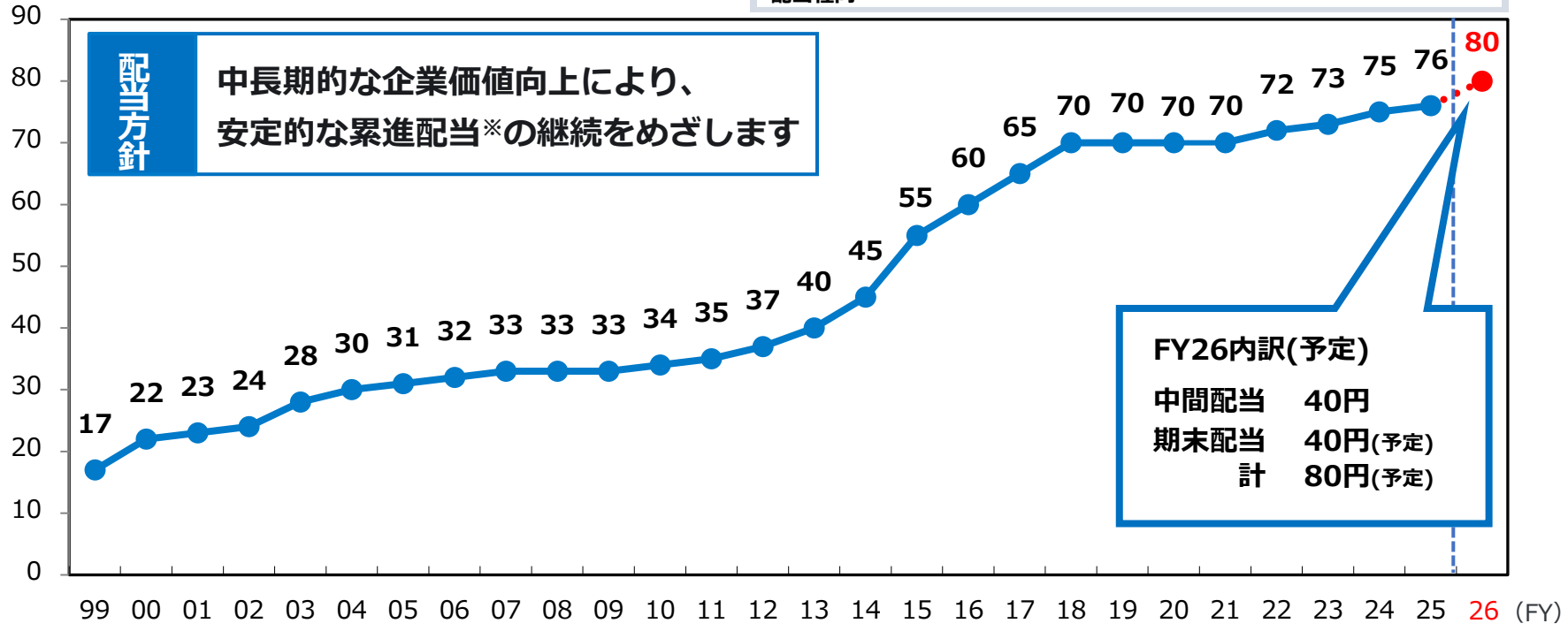
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

配当

FY26中間配当は40円とする（前年度比+2円）

	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26（予想）
EPS	126.7円	110.0円	220.4円	156.7円	242.3円
ROE	6.5%	5.2%	9.7%	6.3%	9.0%
（参考）DOE	3.7%	3.5%	3.3%	3.1%	3.0%
配当性向	56.8%	66.4%	34.0%	48.5%	33.0%

（単位：円）



※ 原則として減配を行わず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

FY26 Q2実績

中期経営計画 進捗

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

成長投資の再開期へ移行し、Perfect and Unique Tagging構想の事業化が進展

中期経営計画期間 ／ 次期中期経営計画

収益回復期 ／ 成長投資の再開期 ／ 投資回収期

Perfect and Unique Tagging※1構想の事業化

FY24-25

- 経営・組織基盤の再構築
- 価格適正化による収益性改善
- コアビジネス収益基盤強化

FY25実績

1,634億円 売上高	110億円 営業利益
6.8% 営業利益率	7.7% ROIC
6.3% ROE	0.9倍 PBR※3

FY26

- キャッシュ創出力の向上
- 戦略投資の実行
- PUT構想の具体化

業績予想※2

1,780億円 売上高	**124**億円 営業利益
7.0% 営業利益率	**8.0**% ROIC
9.0% ROE	**1.0**倍 PBR※4

FY28

- 戦略テーマの事業化
- 投資シナジーの顕在化
- 収益貢献の本格化

中期経営計画

1,860億円 売上高	157億円 営業利益
8.4% 営業利益率	9.4% ROIC
10.2% ROE	1.0倍+ PBR

FY30

- 個品管理・規格化の拡大
- 事業領域・市場の拡張
- 投資と施策効果の最大化

目標

2,000億円 売上高	210億円 営業利益
10.5% 営業利益率	12.3% ROIC
14.1% ROE	1.0倍+α PBR

※1 2030年ビジョンを実現するタギング（モノやヒトにIDや位置などの情報を物理的にひも付けすること）の手法。略称：PUT
※2 2026年11月13日時点の修正計画に基づく
※3 2026年3月31日時点の株価に基づく
※4 2026年9月30日時点の株価に基づく

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

コアビジネスの収益力とキャッシュ創出力を高め、PUT構想の各戦略テーマへ規律ある投資を実行

持続的な企業価値向上へ

収益基盤の強化
- 価格適正化・商品ミックス改善
- リカーリングビジネスの拡大
- ソリューション提案による付加価値向上

バランスシートの改善
- 在庫・CCC※の改善
- 戦略ポートフォリオへの転換
- ROIC・投資回収に基づく投資規律

戦略投資の実行
- 個品管理・規格化の開発と現場実装
- M&A・協業による機能獲得
- 戦略テーマの事業機会を開拓

PUT構想

戦略テーマ

情報の質・量向上による **個品管理**
個品単位での情報管理
- 血液・検体 SCM
- スマート パッケージング

ビジネスエコシステム構築による 市場・業界ごとの**規格化**
企業・業界を越えた情報連携
- サーキュラー エコノミー
- 物流DX

新技術

コアビジネス：安定した収益基盤・幅広いお客さま接点・豊富な現場知見

競争優位性：ソリューション提案・現場実装力 ⇔ お客さま基盤・市場カバレッジ

キャピタル・アロケーション：戦略投資と株主還元への規律ある資本配分

※ CCC（Cash Conversion Cycle）：キャッシュ・コンバージョン・サイクル

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業機会と持続的な成長に向けた競争優位性

PUT構想の事業化を通じ、拡大する識別・追跡・証明の需要を構造的に捕捉し、タギングを軸とする競争優位性を継続的に強化

事業機会



識別・追跡・証明の対象・情報が増大し、需要が構造的に拡大

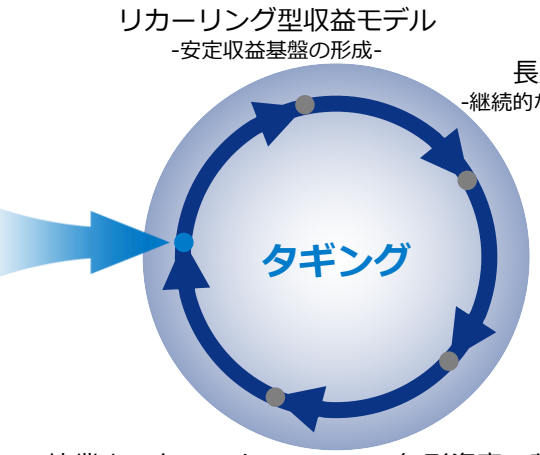
ソリューション提案力・現場実装力

業務プロセスへの組み込み

個品管理	規格化
個品管理 ソリューション	サプライチェーン横断 ソリューション

**戦略テーマで競争優位性の強化に向けた
戦略投資と事業化の取り組みが進展**

競争優位性の源泉



Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

お客さま基盤と現場実装力を起点に、隣接領域でのM&A・設備投資により開発力・生産能力を強化し、これらの強みを掛け合わせることで、グローバルでの事業拡大を加速

売上高目標

FY25実績	FY26予想※1	FY30目標
約900百万円	3,600百万円	15,000百万円

実行・成果マイルストーン

- **FY26：規格化を見据えた事業基盤の構築**
- **FY30：売上高150億円規模に拡大**

重点KPI

- **クロスセル・共同開発商談・受注**
- **新商品・ソリューション収益貢献**

成長施策

開発

- 可変情報を活用した商品開発
- ソフトウェアによる提案高度化
- 自動認識技術と軟包装を融合
- 規格化を見据えた商品・サービス開発

- **平野屋物産との共同商品開発プラン策定**



製造

- 多様な生産ロットへの対応
- 可変情報印刷能力を強化
- 軟包装の加工・生産機能
- 規格化を見据えた生産体制・設備投資

- **デジタル印刷機設備投資**



販売

- グローバルのお客さま基盤を活用
- 事業機会・ニーズを共有
- 共同提案と案件創出を加速
- 業界規格の普及を捉えた先行市場開拓

- **PUT構想の先行性を再確認**
- **TOKYOPACK 2026 平野屋物産と共同出展**



PMI※2を含む実行ガバナンス

統合・基盤構築	シナジー創出	進捗・投資管理
• 企業理念・事業方針の浸透 • 機能・お客さま基盤の統合	• クロスセル・共同開発の推進 • 商談・開発テーマの進捗管理	• KPI・投資効果のモニタリング • 売上・利益・投資回収の管理

※1 日本と海外のスマートパッケージング・ラベルを合算した数値
※2 PMI（Post Merger Integration）：M&A成立後の統合プロセス

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

戦略テーマの事業化に向けた取り組みが進展

血液・検体SCM

市場開拓と収益拡大に向けた取り組みが進展

約**50**件　米国血液学会・展示会で獲得したリード

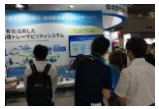


- **市場開拓**　：グローバルでお客さま接点拡大・エコシステム形成が進展
- **現場実装**　：PJM RFIDを核にPoCが欧・米で進展
- **収益化**　：台湾子会社での自動貼り案件が収益寄与

サーキュラーエコノミー

CSV※1を起点に、資源循環を支える活動が進展

約**130**件　環境系展示会で獲得したリード



- **案件形成**　：営業現場への浸透が進み、資源循環の商談機会が拡大
- **現場実装**　：静脈DX、DPP※2、資源トレーサビリティを推進
- **事業基盤**　：共創により、規格化・横展開を見据えたビジネスモデル構築が進展

新技術

横断基盤 -AI・トレーサビリティソリューション-

ソリューション開発基盤を強化し、複数テーマの現場実装を加速

株式会社ケイエム 全株式取得
システム開発技術とリソース、
お客さま現場知見の獲得

›

PUTの現場実装を加速
自動認識技術・個品管理の知見と
ソフトウェア開発力を融合

›

事業モデルの強化
共通ソリューション・クラウド化を進め、
リカーリング収益基盤を拡充

※1 CSV（Creating Shared Value）　：社会課題の解決を通じた経済価値の創出
※2 DPP（Digital Product Passport）　：デジタル製品パスポート

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

Appendix

補足資料　P. 28～P. 49

用語集　P. 50～P. 53

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業別商品概要

連結売上高：163,434百万円（FY25）　100%

ベース事業

連結売上高の85%　(地域別売上高構成比：米州 13%、欧州 10%、アジア・オセアニア 16%、日本 61%)

メカトロ 41%

プリンター



ハンドラベラー
その他ハード



ソフトウェア



保守サポート



サプライ 44%

タグ・ラベル



プライマリー専業

15%　(地域別売上高構成比：米州 15%、欧州 83%、アジア・オセアニア2%)

サプライ 100%

シール
(プライマリーラベル)



Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

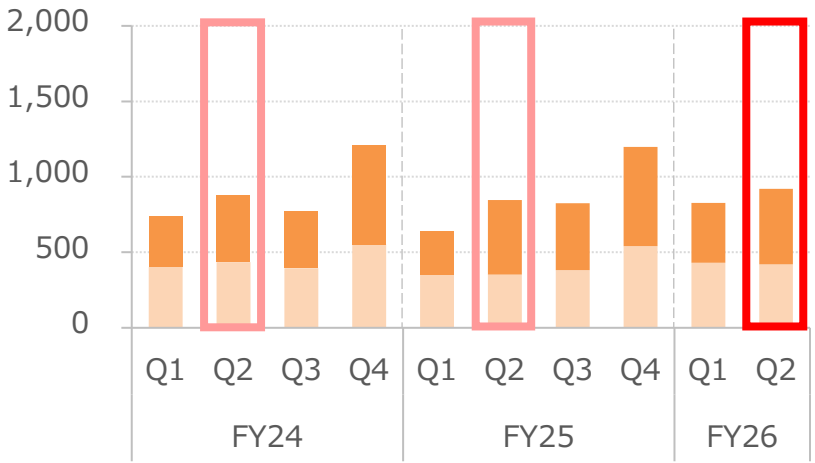
人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調
RFIDは、マニュファクチャリング市場の大口案件と新型プリンター販売がけん引して増加
自動化は、ヘルスケア市場の前年同期にあった大口案件の反動減を、ロジスティクス市場のEC関連案件が補い横ばい

（単位：百万円）

RFID



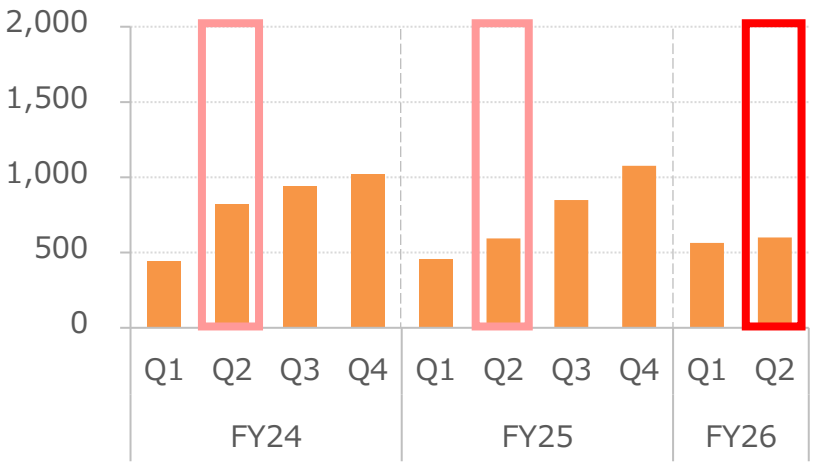
FY26 Q2 前年比：**8.6**%増



自動化※



FY26 Q2 前年比：**0.9**%増



※ 自動化は、ハードウェアとソフトウェアの合算（サプライと保守は除く）

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

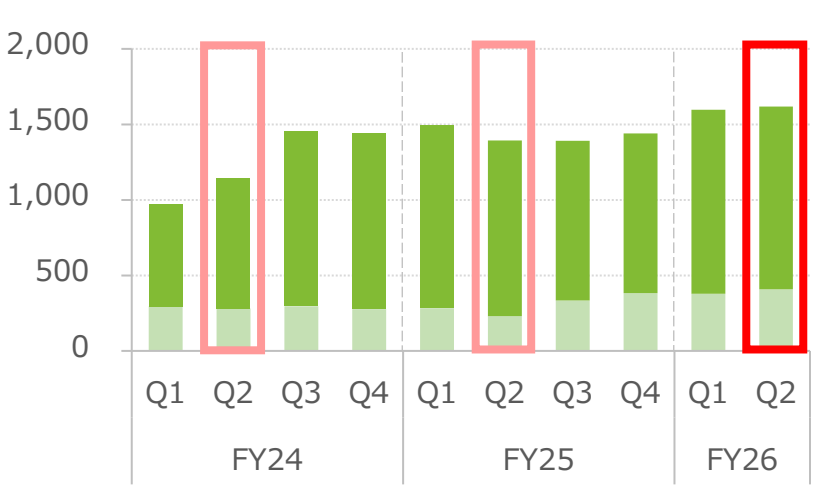
人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調
RFIDは、豪州の大口案件が一服したものの、米州の大口案件が継続して増加
自動化は、欧州やアジアでの大口案件がけん引して増加

（単位：百万円）

RFID



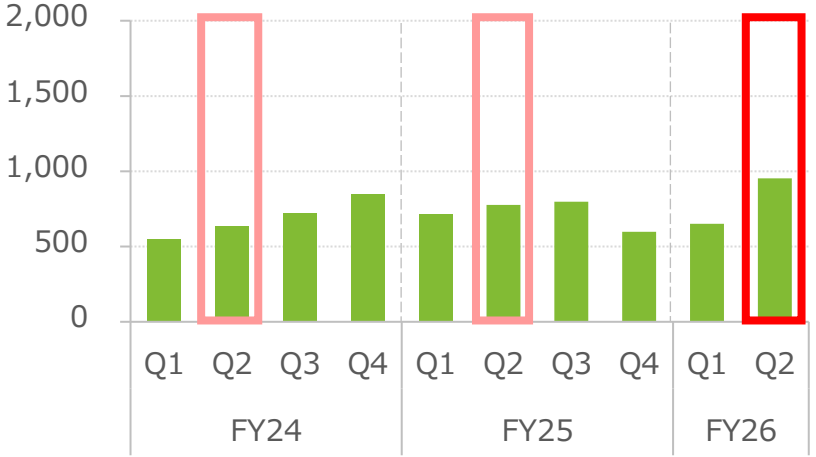
FY26 Q2 前年比：**16.2**%増



自動化※



FY26 Q2 前年比：**22.9**%増



※ 自動化はハードウェアのみ

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高および営業利益※

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		売上高	78,248	89,540	+14.4%	+9.1%
		営業利益	5,101	6,825	+33.8%	+30.4%
海外	ベース事業	売上高	25,650	30,103	+17.4%	+7.0%
		営業利益	2,251	2,761	+22.7%	+10.3%
	プライマリー専業	売上高	12,032	13,676	+13.7%	+1.2%
		営業利益	1,030	1,205	+17.0%	+6.6%
	消去	営業利益	-26	5	-	-
	計	売上高	37,682	43,779	+16.2%	+5.2%
		営業利益	3,255	3,972	+22.0%	+10.2%
日本		売上高	40,565	45,760	+12.8%	+12.8%
		営業利益	1,901	2,871	+51.0%	+62.2%
消去		営業利益	-56	-19	-	-

※ ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 44に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績※1

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	78,248	89,540	+11,292	+14.4%
営業利益	5,101	6,825	+1,724	+33.8%
営業利益率	6.5%	7.6%	+1.1pt	-
経常利益	4,460	6,330	+1,870	+41.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	3,052	4,342	+1,289	+42.3%
実効税率	28.6%	28.4%	-0.2pt	-
EBITDA※	8,015	10,156	+2,141	+26.7%

為替感応度：すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+556百万円、営業利益+24百万円（FY26通期ベース）

為替レート（期中平均）

USD	146.02	159.48
EUR	168.05	184.42

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	2,907	3,293
のれん償却	6	37

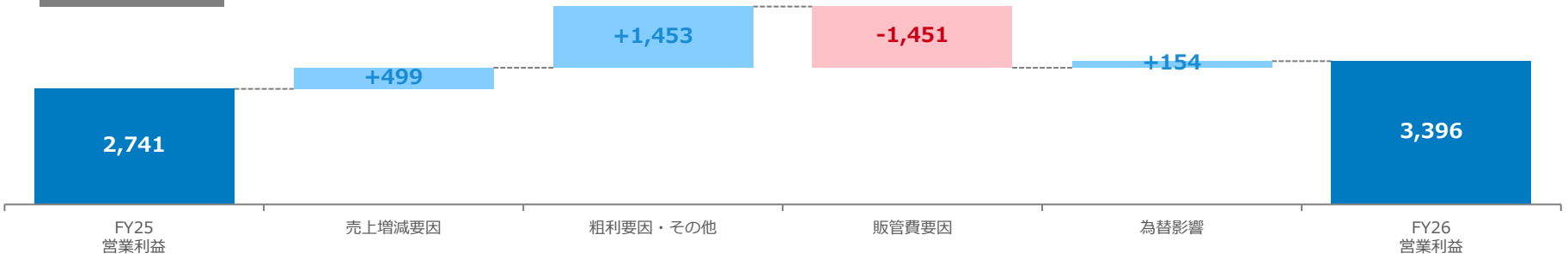
※1 ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 45に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

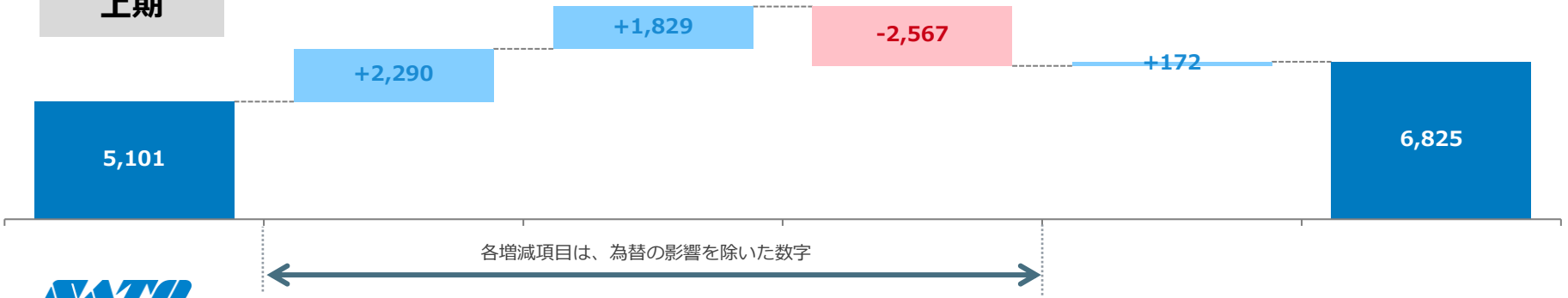
営業利益 前年との比較※

（単位：百万円）

Q2



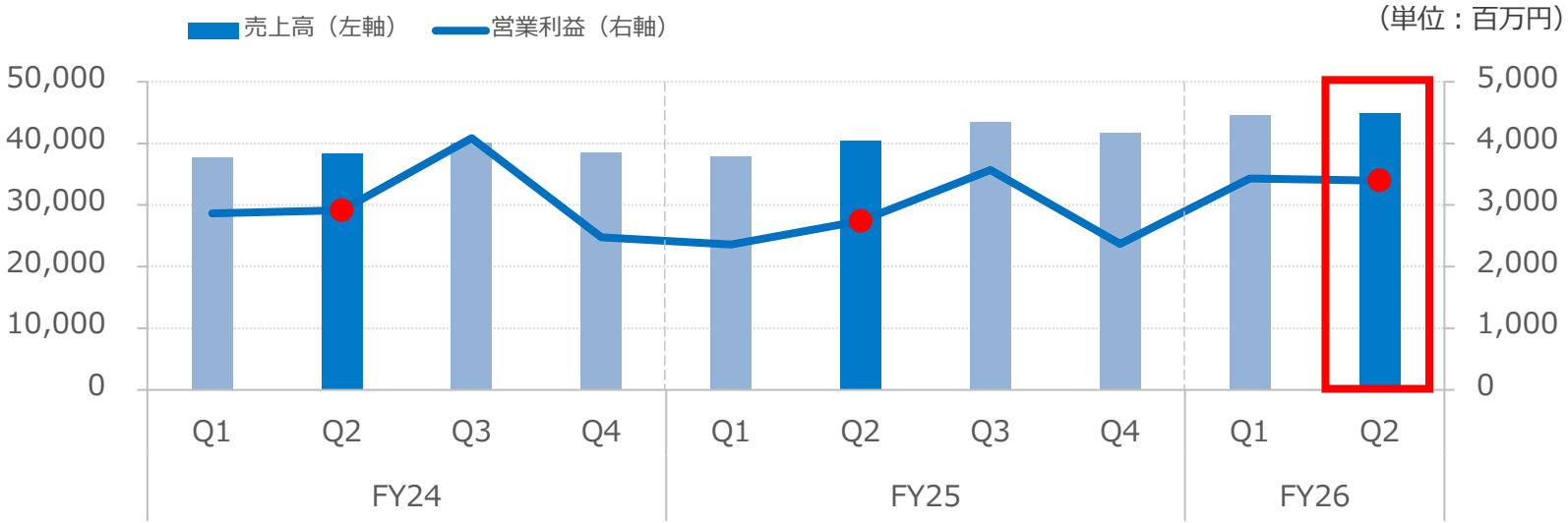
上期



※ ロシア子会社を除外した売上・営業利益はP. 46に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移



売上高	37,674	38,415	40,121	38,596	37,829	40,418	43,507	41,679	44,621	44,918
前年比	+10.8%	+7.3%	+6.6%	+7.1%	+0.4%	+5.2%	+8.4%	+8.0%	+18.0%	+11.1%
営業利益	2,864	2,914	4,086	2,475	2,359	2,741	3,571	2,368	3,429	3,396
前年比	+32.6%	+18.4%	+17.9%	+7.8%	-17.6%	-5.9%	-12.6%	-4.3%	+45.3%	+23.9%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

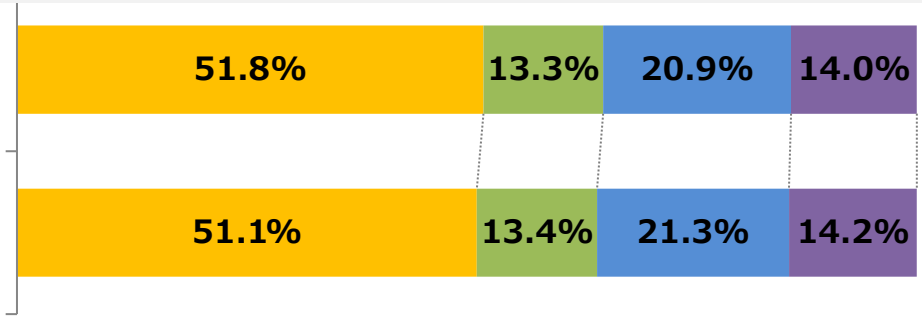
地域別売上高および営業利益構成

日本　米州　欧州　アジア・オセアニア　（単位：百万円）

売上高

78,248

89,540



営業利益

※ 構成比は消去を除く

5,157

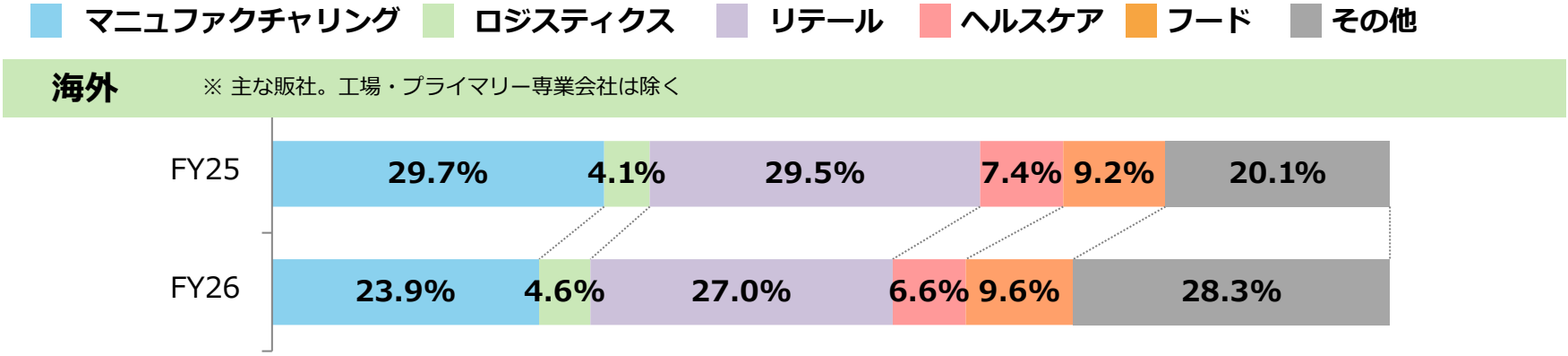
6,844



営業利益率						
	FY25	日本：	4.7%	、海外：	8.6%
	FY26	日本：	6.3%	、海外：	9.1%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高構成



※ FY25 Q1より公共とマニュファクチャリングを合算。グラフは遡及修正後

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

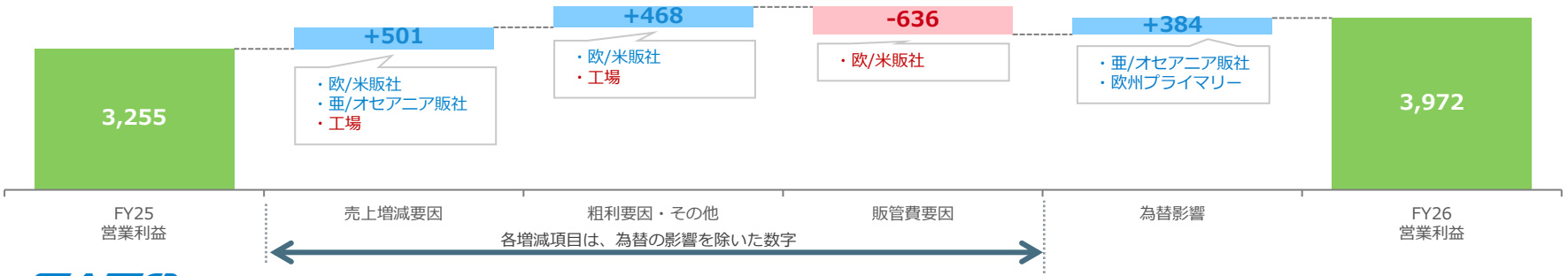
総括

	FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
ベース事業 売上高	25,650	30,103	+4,452	+17.4%	+7.0%
プライマリー専業 売上高	12,032	13,676	+1,644	+13.7%	+1.2%
売上高 計	**37,682**	**43,779**	**+6,097**	**+16.2%**	**+5.2%**
粗利額	14,265	16,805	+2,539	+17.8%	-
粗利率	37.9%	38.4%	+0.5pt	-	-
ベース事業 営業利益	2,251	2,761	+510	+22.7%	+10.3%
プライマリー専業 営業利益	1,030	1,205	+175	+17.0%	+6.6%
消去 営業利益	-26	5	+31	-	-
営業利益 計	**3,255**	**3,972**	**+717**	**+22.0%**	**+10.2%**
営業利益率	8.6%	9.1%	+0.4pt	-	-

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

・＋要因
・－要因

営業利益 前年との比較



Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

米州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	8,579	9,897	+1,317	+15.4%	+5.6%
営業利益	297	810	+512	2.7倍	2.5倍

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

欧州 ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	6,320	7,712	+1,392	+22.0%	+11.4%
営業利益	205	176	-28	-13.9%	-21.2%

アジア・オセアニア ベース事業

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減		
				前年比	現地通貨ベース
売上高	10,751	12,493	+1,742	+16.2%	+5.5%
営業利益	1,748	1,775	+26	+1.5%	-9.7%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

海外 プライマリー専業

（単位：百万円）

		FY25	FY26	増減	前年比	現地通貨ベース
米州 Achernar社（アルゼンチン） Plakorar社（ブラジル）	売上高	1,827	2,066	+238	+13.1%	+5.0%
	営業利益	252	383	+130	+51.8%	+47.4%
欧州 Okil社/X-pack社（ロシア）	売上高	10,019	11,379	+1,359	+13.6%	+0.3%
	営業利益	759	814	+55	+7.3%	-5.3%
アジア・オセアニア Hirich社（ベトナム）	売上高	184	230	+46	+25.1%	+17.0%
	営業利益	18	7	-10	-61.0%	-63.5%
合計	売上高	12,032	13,676	+1,644	+13.7%	+1.2%
	営業利益	1,030	1,205	+175	+17.0%	+6.6%

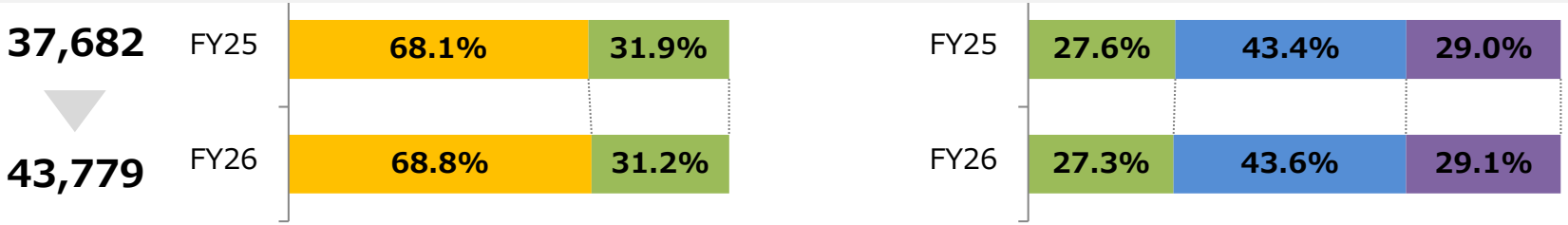
※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高および営業利益構成（事業別・地域別）

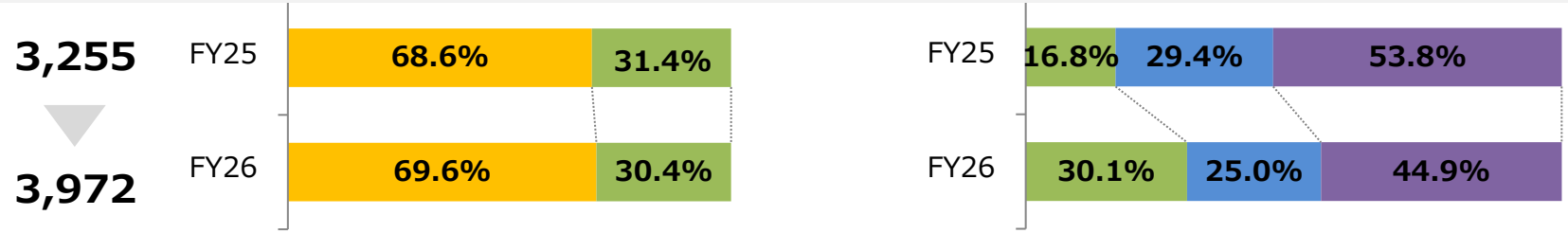
（単位：百万円）

売上高



営業利益

※ 構成比は消去を除く



営業利益率：FY25　ベース：8.8%、プライマリー：8.6%

FY26　ベース：9.2%、プライマリー：8.8%

FY25　米州：5.3%、欧州：5.9%、アジア・オセアニア：16.2%

FY26　米州：10.0%、欧州：5.2%、アジア・オセアニア：14.0%

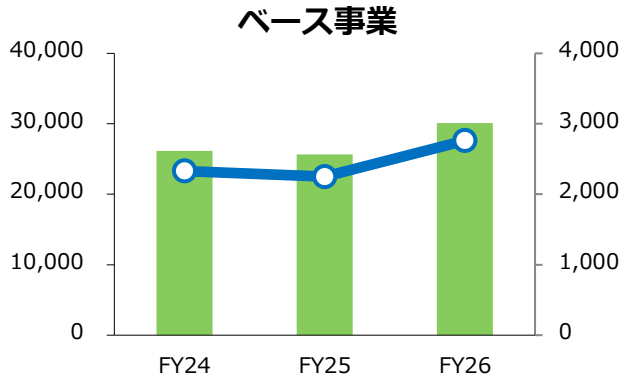
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

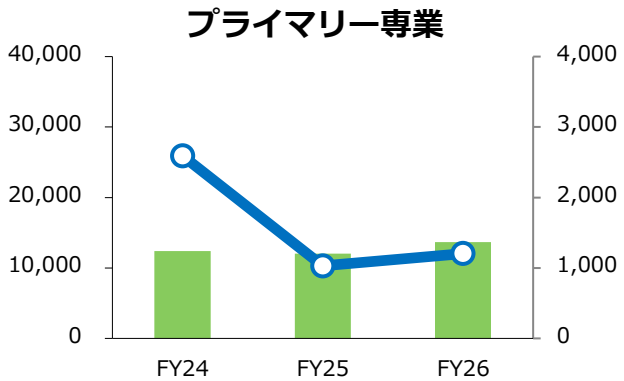
事業別および地域別売上高および営業利益推移

事業別

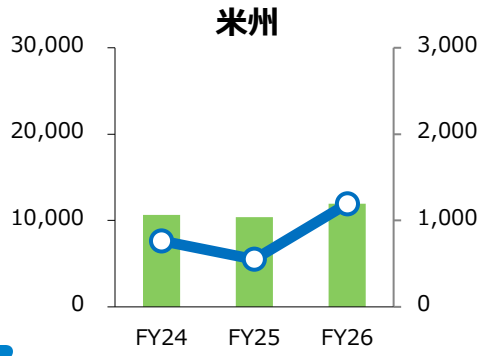


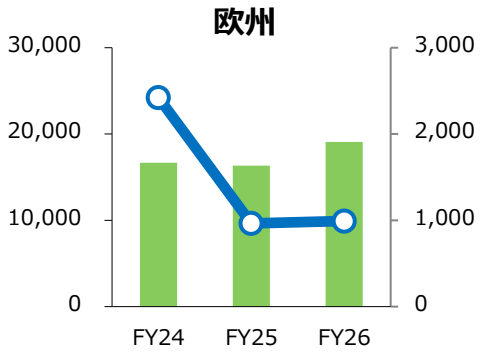
（単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益）

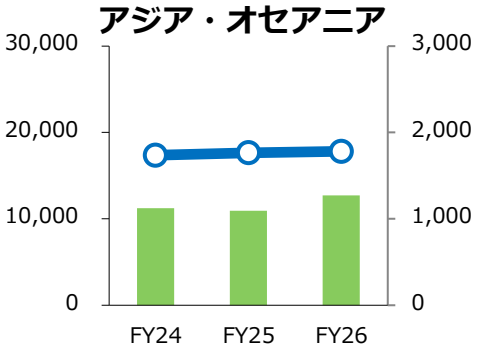




地域別







Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

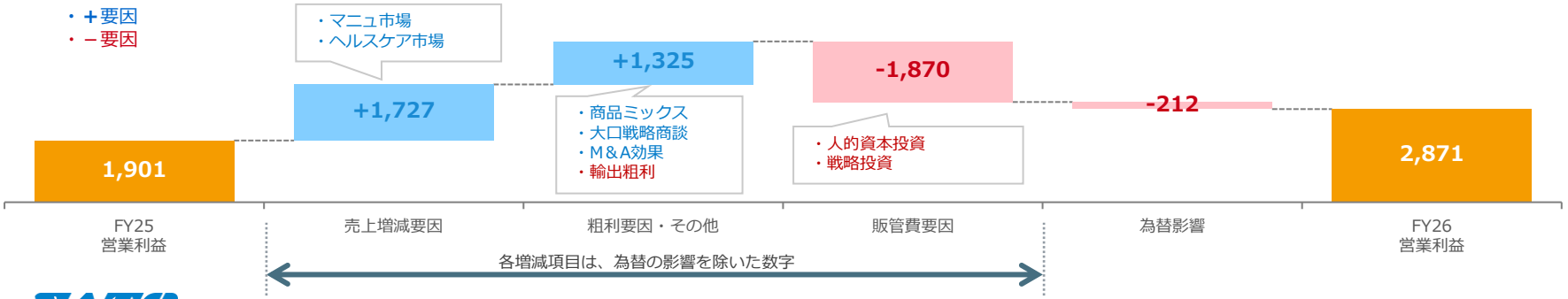
総括

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
メカトロ売上高	16,923	18,557	+1,633	+9.7%
サプライ売上高	23,641	27,202	+3,561	+15.1%
外部売上高 計	**40,565**	**45,760**	**+5,195**	**+12.8%**
粗利額	18,316	21,157	+2,840	+15.5%
粗利率	45.2%	46.2%	+1.1pt	-
営業利益	**1,901**	**2,871**	**+970**	**+51.0%**
営業利益率	4.7%	6.3%	+1.6pt	-

メカトロ：プリンターやラベル自動貼付機器、スキャナー、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど
サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど

営業利益 前年との比較



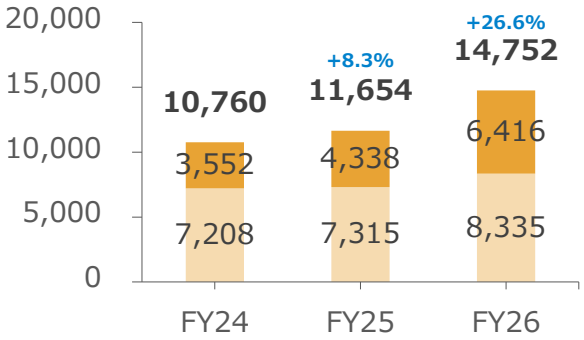
Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

市場別売上高推移※1

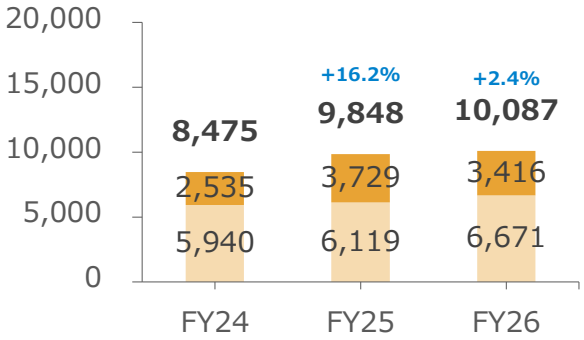
■：メカトロ　■：サプライ　※%は前年同期比

（単位：百万円）

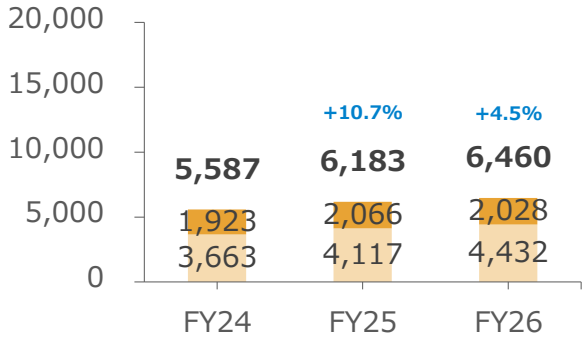
マニュファクチャリング※2



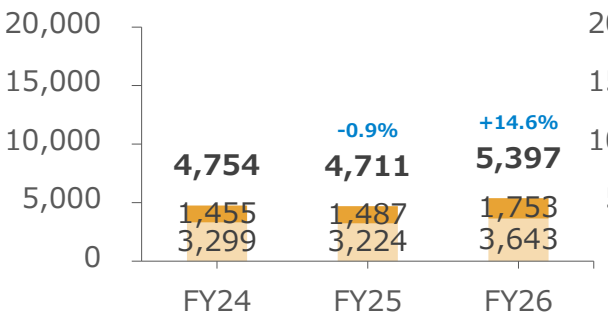
ロジスティクス※3



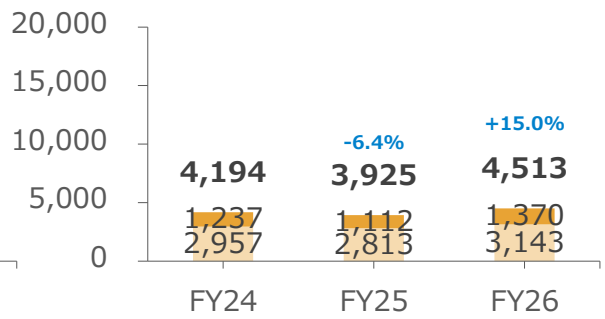
リテール



ヘルスケア



フード



※1 FY24 Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後
※2 FY25 Q1よりマニュファクチャリングと公共を合算。グラフは遡及修正後
※3 FY23 Q1より一部業界を公共からロジスティクスに区分変更。グラフは遡及修正後

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高および営業利益（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		**売上高**	**35,488**	**39,346**	**+10.9%**	**+7.6%**
		営業利益	**2,373**	**2,844**	**+19.9%**	**+15.5%**
海外	**ベース事業**	売上高	13,022	15,270	+17.3%	+9.0%
		営業利益	1,133	1,765	+55.8%	+42.3%
	プライマリー専業	売上高	992	1,174	+18.3%	+11.9%
		営業利益	100	175	+75.6%	+70.3%
	消去	営業利益	24	-46	-	-
	計	売上高	14,014	16,444	+17.3%	+9.2%
		営業利益	1,257	1,895	+50.7%	+38.1%
日本		売上高	21,473	22,901	+6.7%	+6.7%
		営業利益	1,036	1,021	-1.5%	+3.7%
消去		営業利益	78	-71	-	-

※ 上期（4～9月）実績はP. 48に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	35,488	39,346	+3,858	+10.9%
営業利益	2,373	2,844	+471	+19.9%
営業利益率	6.7%	7.2%	+0.5pt	-
経常利益	2,293	2,656	+362	+15.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,716	1,560	-156	-9.1%
EBITDA※	3,604	4,242	+638	+17.7%

為替レート（期中平均）

USD	146.02	159.48
EUR	168.05	184.42

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	1,227	1,363
のれん償却	3	33

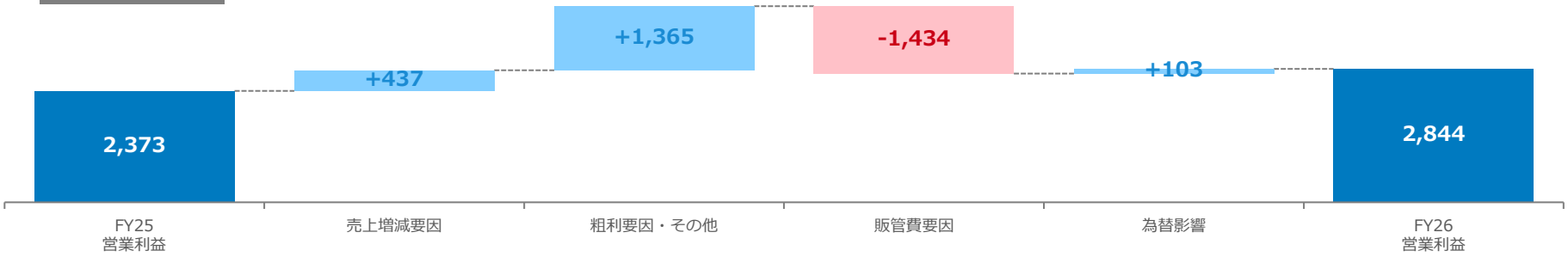
※ 上期（4～9月）実績はP. 49に掲載

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

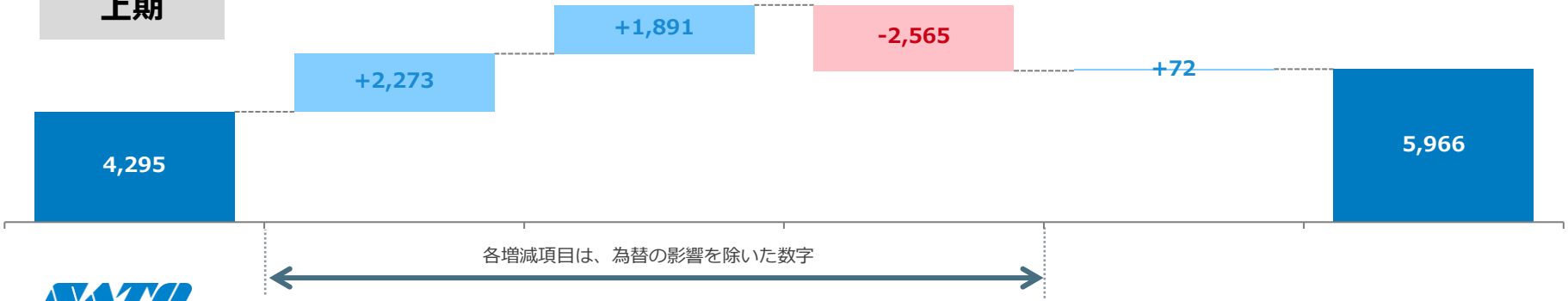
営業利益 前年との比較（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

Q2

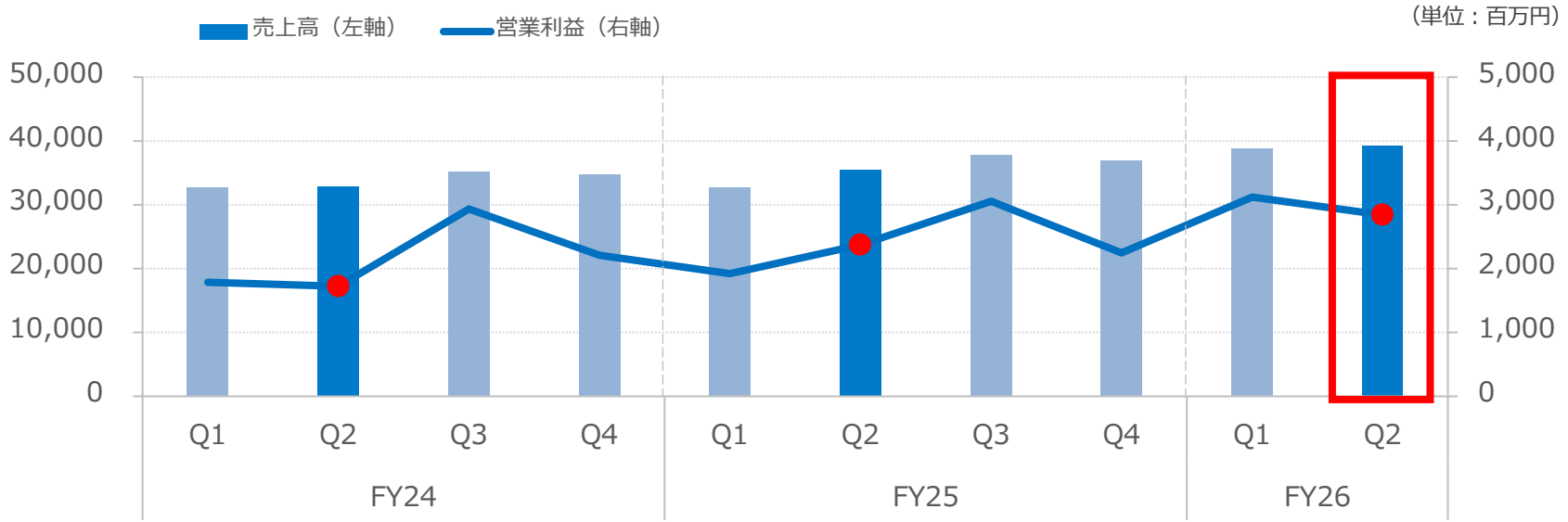


上期



Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外）



売上高	32,770	32,918	35,238	34,786	32,740	35,488	37,792	37,015	38,814	39,346
前年比	+8.1%	+4.7%	+5.4%	+7.8%	-0.1%	+7.8%	+7.3%	+6.4%	+18.6%	+10.9%
営業利益	1,789	1,724	2,935	2,209	1,922	2,373	3,054	2,249	3,121	2,844
前年比	+46.5%	+55.2%	+8.5%	+40.0%	+7.4%	+37.6%	+4.1%	+1.8%	+62.4%	+19.9%

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

事業セグメント別売上高および営業利益（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

			FY25	FY26	前年比	現地通貨ベース
連結		**売上高**	**68,228**	**78,161**	**+14.6%**	**+10.4%**
		営業利益	**4,295**	**5,966**	**+38.9%**	**+37.2%**
海外	ベース事業	売上高	25,650	30,103	+17.4%	+7.0%
		営業利益	2,251	2,761	+22.7%	+10.3%
	プライマリー専業	売上高	2,012	2,297	+14.2%	+6.1%
		営業利益	224	345	+54.2%	+51.4%
	消去	営業利益	-26	5	-	-
	計	売上高	27,663	32,400	+17.1%	+6.9%
		営業利益	2,449	3,113	+27.1%	+15.5%
日本		売上高	40,565	45,760	+12.8%	+12.8%
		営業利益	1,901	2,871	+51.0%	+62.2%
消去		営業利益	-56	-19	-	-

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

業績（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）

	FY25	FY26	増減	前年比
売 上 高	68,228	78,161	+9,932	+14.6%
営業利益	4,295	5,966	+1,670	+38.9%
営業利益率	6.3%	7.6%	+1.3pt	-
経常利益	3,953	5,689	+1,736	+43.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,777	3,986	+1,208	+43.5%
実効税率	28.6%	28.1%	-0.6pt	-
EBITDA※	6,676	8,638	+1,962	+29.4%

為替レート（期中平均）

USD	146.02	159.48
EUR	168.05	184.42

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

減価償却費	2,374	2,635
のれん償却	6	37

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（1/4）

	サトー独自のコンセプト・取り組み	説明
1	**自動認識ソリューション事業**	DCS & Labelingを展開。具体的には、お客さまの課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンターやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーの技術や商品などを組み合わせて提供。本事業は海外と日本に区分され、海外はベース事業とプライマリー専業から構成される。
2	**DCS & Labeling** （DCS: Data Collection Systems）	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とプリンターやラベルなどの商品・サービスを活用し、さまざまな現場にあるモノや人の情報（＝Data）を正確かつ効率的に収集（＝Collection）する仕組み（=Systems）と、情報を最適な形でひも付けするタギング（含むLabeling）を提供するサトーグループのビジネスモデル。 また、お客さま課題の高度化を受け、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに画像認識・音声認識や位置測位技術、センサーなど、さらに付加価値を高める技術を組み合わせることで、お客さま課題の解決手法をさらに向上させている。
3	**ベース事業**	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など可変情報をタギングするビジネス。
4	**プライマリー専業**	商品ラベルなどの固定情報ラベルをタギングするビジネス。 Achernar（アルゼンチン）、Prakolar（ブラジル）、Okil（ロシア）、X-Pack（ロシア）、Hirich（ベトナム）からなる。
5	**タギング**	お客さまの現場でモノや人にIDや状態情報を物理的にひも付けし、現物と情報を一致させ、デジタル化された情報を活用できるようにする作業。 この「現物と情報の一致」は、商品に価格等の情報をひも付けするハンドラベラーの時代から続く。
6	**コト売り**	商品の単品売りではなく、ハードウェアやサプライ、保守サービス、ソフトウェア等を組み合わせたソリューションを、ROIの提示を含めて提案する売り方。単品売りの「モノ売り」に対する概念。
7	**Perfect and Unique Tagging** (PUT)	モノや人に対し、IDなどの属性情報に加え、位置情報やセンサーなどから得られる状態情報をひも付けることにより、完全かつ唯一無二な個体情報をトレースできるようにする高難度な課題を解決するタギング手法。人手を介さず動作と一体化した全自動の読み取りで状態を識別・管理ができる。PUTを活用したソリューションにより、企業単位の現場課題だけでなく社会全体の共通課題の解決をめざす。

*下線付き用語は別途説明項目あり

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（2/4）

サトー独自のコンセプト・取り組み（続き）		説明
8	**現場力**	さまざまな市場・業界のお客さまの現場と向き合い、運用を理解し、課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。 カバレッジ(現場を知ることで蓄積された幅広い「市場x業界x用途」の課題へ対応する力)、インテグレーション(戦略パートナーとの共創に基づき、商品・サービス・技術を統合して提供する力)、メンテナンス(継続的なソリューション提供でお客さまの信頼を醸成し、深く、長い関係を構築する力)の3つの要素で構成される。
9	**三行提報**	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを約三行（100～150文字）にまとめ、毎日経営トップに直接提出する取り組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じ、社員は経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」に寄与。また経営トップに直接提出することから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレートガバナンスの面においても効果を発揮。 1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
商品・サービス・技術		**説明**
1	**自動認識ソリューション**	DCS & Labelingを実現するための商品・サービス。具体的にはプリンター、ラベル、ソフトウェア、保守サポートなどの組み合わせ。加えて、近年は複雑化・多様化するお客さま課題に応えるため、自前主義に拘らず、パートナーシップを推進することによって実現をめざす。例えば位置測位技術を用いてモノや人の位置情報を取得し、作業者や在庫の動きをリアルタイム捕捉することで、工数・作業時間の見える化や製造工程の進捗管理を実現。
2	**メカトロ商品**	プリンターやラベル自動貼付機器、スキャナー、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど、サプライ商品以外のすべて。粗利率はサプライ商品よりも高い。プリンターはマレーシア、ベトナムおよび台湾にて製造。
3	**サプライ商品**	可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなどの消耗品。粗利率はメカトロ商品よりも低いが、リピートビジネスのため販売管理費率は低い。
4	**可変情報ラベル**	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など、お客さまの現場で必要に応じて変化させる情報を印字する用途のラベル。必要な時に必要な分だけ発行できる点が、固定情報を一度に大量印刷するプライマリーラベル（商品シール）との大きな相違。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（3/4）

	商品・サービス名・技術（続き）	説明
5	**RFID**（Radio Frequency Identification）	自動認識技術の一つ。電波を利用してデータの読み書きを行い、①複数一括読み取り、②非接触での読み取り、③遮蔽物や汚損があっても可能な読み取り、④情報の書き換え、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が可能。
6	**PJM**（Phase Jitter Modulation）	HF帯の周波数を用いた、国際標準規格ISO/IEC18000-3 Mode 2に準拠したRFID技術。サトーは、実装に向けた読み取り回路やシステムに関して多くの特許を有している。1秒に最大600個のRFIDタグを高速かつ正確に読み取ることができるのに加え、特殊環境における読み取り（-80℃まで動作可能、液体の干渉を受けない、積層状態でも読み取りができる、医療用滅菌など放射線耐性）に強いのが特長。条件や環境によっては、金属の干渉を受けにくい運用も提案できる。上記の優位性により、血液バッグや整形外科インプラントの運用・管理で普及が進んでいる。
7	**SOS**（SATO Online Services）	お客さまのプリンターをクラウドに接続して遠隔でモニタリングを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。またお客さまはプリンターの稼働・活用状況を一覧でき、資産管理が容易となる。 一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上に寄与。
8	**AEP**（Application Enabled Printing）	プリンターに内蔵された知能がラベル発行作業を最適化。PCを介さずプリンター単体での他システムとの連動も可能。
9	**SATO AEP Cloud**（SATO Application Enabled Printing Cloud）	2025年4月に欧州子会社のSATO Europe GmbHがローンチしたクラウド型のaPaaS (Application Platform as a Service)。お客さまが直面している複雑なラベル貼り付けの運用や法規制（例：デジタル製品パスポート）などの課題に対して、ノーコード・ローコードで柔軟かつ迅速なアプリケーション設計が可能となる。これにより、運用精度、業務効率、コスト管理などの実現に寄与。
10	**サプライヤーマーキング**	納品先がベンダーやサプライヤーに対し、商品・製品の納品時に指定の情報を記載したラベルを貼付することを要請する運用。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

用語集（4/4）

2012年以降に買収等した主な会社		説明
1	**Argox Information Co., Ltd.**（台湾）	2012年に買収したエントリー・モデルのプリンターの開発・製造・販売子会社。
2	**Achernar S.A.**（アルゼンチン）	2012年に買収したプライマリー専業子会社。
3	**Magellan Technology Pty Ltd.**（オーストラリア）	ISO/IEC18000-3 Mode 2に準拠したRFID技術「PJM（Phase Jitter Modulation）」を有するMagellan Technology Pty Ltd.の事業を2013年に譲り受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	**Okil-Holding, JSC**（ロシア）	2014年に買収したプライマリー専業子会社。サトーが75%の株式を保有。同国のX-Packは関連会社。
5	**Prakolar Rótulos Autoadesivos Ltda.**（ブラジル）	2015年に買収したプライマリー専業子会社。
6	**High Rich Trading & Service Corporation**（ベトナム）	2017年に株式取得したプライマリー専業子会社。サトーが49%の株式を保有。略称はHirich。
7	**Stafford Press, Inc.**（米国）	2023年に買収した花卉用タグ・ラベル（花や植物の品種名や写真が表示され、鉢やプランターに付けるタグやラベル）と、それらをオンデマンドでカラー発行するインクジェットプリンターの製造・販売子会社。
8	**株式会社平野屋物産**（日本）	2026年に全株式を取得した軟包装の製造・販売事業を展開する子会社。
2017年以降に設立した海外子会社		**説明**
1	**OKIL-SATO X-Pack Co., Ltd.**（ロシア）	シュリンクスリーブ、インモールド、軟包装の製造・販売を行い、サトーが60%の株式を保有するプライマリー専業子会社。2017年設立。

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.

【本資料ご利用にあたってのご注意事項】
・本資料に記載の内容は全て2026年11月現在の情報をもとに作成したものです。
・本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
・本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
・本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。

www.sato-global.com/ja/

Copyright © SATO Corporation. All rights reserved.